

ここが聞きたい！

# 一般質問

一般質問



議長、副議長及び監査委員を務める議員は、慣例により一般質問は行っておりません。  
【議長：人見武男議員(左)、副議長：山之内肇議員(中)、監査委員：北川久人議員(右)】

### テーマは自由

質問する内容は、議案とは関係なく、市政に関し自由に決め、事前に通告しています。

### 質問時間は40分

議員1人の質問時間は、市当局からの答弁も含めて、40分以内です。

3月18日(火)・19日(水)の2日間にわたり、17人の議員が一般質問を行い、市政に関する問題について、市当局の見解を求めました。

※氏名の横は所属会派名(無会派は会派に属さない議員)



各議員の二次元コードを読み込むと、一般質問の映像を見ることができます！

※各議員の提案の右上にあるロゴは、SDGs(エス・ディー・ジーズ)の17の目標に関連しています。

## 議員の提案

### 医療的ケア児の受入施設等をサポート



医療的ケア児等支援センターのパンフレット(群馬県)

【問】 県は、県内3か所に医療的ケア児等支援センターを設置し、家族・支援者への相談支援、人材育成のほか、医療・保健・福祉・教育・保育・行政のネットワーク構築に取り組んでいる。市としては、更なる充実を県に要望するとともに医療的ケア児への切れ目ない支援の在り方について研究してまいりたい。

#### 県への要望と支援の在り方を研究

【答】 県は、県内3か所に医療的ケア児等支援センターを設置し、家族・支援者への相談支援、人材育成のほか、医療・保健・福祉・教育・保育・行政のネットワーク構築に取り組んでいる。市としては、更なる充実を県に要望するとともに医療的ケア児への切れ目ない支援の在り方について研究してまいりたい。



#### 受入施設への助言・指導の向上を

【問】 他自治体では、医療的ケア児の受入施設への助言や新規事業の運営指導、経理状況確認などのサポートをする「医療的ケア児等支援機関サポート医師配置業務」を実施している。本市でもこの取組を検討できないか。

#### 専門組織を配置

小島 じゅん 一心会 強議員



定例会概要

市議会の活動ほか

そのほか…「不法投棄」について質問

## 議員の提案

### 誤った対応は反省・改善し救済措置を



福祉課窓口

【問】 通院交通費については、これまで特段の説明を行わず、周知不足があったと受け止めている。また、不動産保有については、これまでは家屋の保有は認めないと受け止められる説明であったと認識しており、不適切な対応があったと考えられる。いずれも現在は県の生活保護のしおりを活用し、説明の徹底を図っている。

#### 現在は新規開始の面接時に説明

【答】 医療扶助の一種で被保護者が通院する際に交通費として支給される通院交通費について、市のこれまでの取扱いはどうであったか。また、不動産保有について、厚労省の基準と比較し、市のこれまでの説明や対応は適切であったか。

#### 説明や取扱いは適切であったか

【問】 医療扶助の一種で被保護者が通院する際に交通費として支給される通院交通費について、市のこれまでの取扱いはどうであったか。また、不動産保有について、厚労省の基準と比較し、市のこれまでの説明や対応は適切であったか。

#### 生活保護適正運用

渡辺 ひろこ 日本共産党議員団 恒議員



議員の提案

# 絶滅危惧種カッコソウの保全を



カッコソウ

**問** 移植の経緯は把握していないが、協議会で把握している移植地は、桐生市が鳴神山に2か所、自然観察の森に2か所、みどり市が小平地区に2か所、合計6か所である。また、運営団体は、桐生市では、「鳴神山神社下の移植地」を神社の氏子が管理し、保全作業の協力をNPO法人鳴神の自然を守る会が行い、「こつなぎ移植地」は、鳴神山を愛する会が保全を行っている。みどり市では、小平サクラソウの会が、保全を行っている。

**答** 移植の経緯は把握していないが、協議会で把握している移植地は、桐生市が鳴神山に2か所、自然観察の森に2か所、みどり市が小平地区に2か所、合計6か所である。また、運営団体は、桐生市では、「鳴神山神社下の移植地」を神社の氏子が管理し、保全作業の協力をNPO法人鳴神の自然を守る会が行い、「こつなぎ移植地」は、鳴神山を愛する会が保全を行っている。みどり市では、小平サクラソウの会が、保全を行っている。



15  
田島 忠一 議員  
政策研究会  
カッコソウ



移植地の数や管理している団体は

カッコソウを保全するために移植された経緯と桐生・みどり両市内における移植地数及び管理運営団体は。

両市には、6か所の移植地がある

議員の提案

# 小さな政府と規制緩和で地域活性化



桐生市役所

**問** 今後の取組については、国や先進自治体の動向などを注視するとともに、規制緩和の必要性や国・県からの財政支援の有無も総合的に勘案し、最適な制度を選択しながら、本市の地域活性化に向けて引き続き取り組んでまいりたい。

**答** 今後の取組については、国や先進自治体の動向などを注視するとともに、規制緩和の必要性や国・県からの財政支援の有無も総合的に勘案し、最適な制度を選択しながら、本市の地域活性化に向けて引き続き取り組んでまいりたい。



11  
園田 基博 議員  
一心会  
地域再生



構造改革特区を含めた今後の取組は

地域再生計画ではKPI指標による評価、検証を行っており、新しい計画を作成する時などにも生かせるものだと考えるが、地域を活性化させるために、地域再生計画だけでなく、構造改革特区を活用した規則緩和により民間活動の活性化の検討も含め、市は今後どのような取組を行っていくお考えか。

最適な制度を選択しながら取り組む

そのほか…「災害協定」について質問

議員の提案

# 学習指導要領以上の公教育の取組を



学生のイメージ

**問** 適正規模適正配置で学校間統合が進み、ポジティブな教育体制推進の可能性はある。公教育にオルタナティブ教育や文化、スポーツ、学力等の向上、個別の興味や能力に特化した学びを取り入れ、子どもの未来に備えたい。各校特化した学びや指定学校変更の手續きの緩和、送迎バスの導入等を含め、公教育において選択肢の増加は、市民の教育への興味を深め、市外からも注目されるが、ご見解は。

**答** 今後も魅力ある学校づくりを目指す。今後も、学習指導要領に示されている児童生徒に身につけさせたい力を明確にししながら、魅力ある学校づくりを目指してまいりたいと考えている。



4  
近藤 芽衣 議員  
そつぞう未来  
教育文化都市へ



公教育において選択肢の増加を

適正規模適正配置で学校間統合が進み、ポジティブな教育体制推進の可能性はある。公教育にオルタナティブ教育や文化、スポーツ、学力等の向上、個別の興味や能力に特化した学びを取り入れ、子どもの未来に備えたい。各校特化した学びや指定学校変更の手續きの緩和、送迎バスの導入等を含め、公教育において選択肢の増加は、市民の教育への興味を深め、市外からも注目されるが、ご見解は。

今後も魅力ある学校づくりを目指す

そのほか…「公式LINEアカウントの導入」について質問

丹羽 孝志 議員  
公明クラブ  
斎場予約待ち



心労を無くすため改善できないか

**問** 今年1月上旬、桐生市斎場では火葬をしてもらうまでに相当な日数を要し、遺族がとても苦労したという事案を耳にした。現在の待ち時間を改善するために、当局としてどのような対策がされているのか。

お待たせすることのないよう改善

**答** 今年1月上旬から急激に混雑したが2月に入り徐々に解消した。混雑する年末年始は、通常の時間帯に加えて、午後5時から2件の火葬を受け入れ混雑解消を図ってきた。年末年始以外の突発的な混雑の対応についても同様の措置を講じるなど、他の自治体の取組を参考に改善していきたい。

議員の提案

## 遺族への心理的負担の軽減を



桐生市斎場

そのほか…「地域への防犯カメラ設置」について質問

歌代 公司 議員  
無会派  
米の価格が倍に



減反政策がなくなった後の補助は

**問** 平成30年に減反政策が無くなった後も米の生産量は増えていない。現在の農地への補助金はどのようになっていくか。また、市内の新規就農者の人数と栽培作物の傾向は。

主食用米以外の栽培に補助がある

**答** 現在は、経営所得安定対策事業として主食用米以外の栽培を推奨し、転作物として田で畑作物を栽培・販売することによる補助事業がある。また、水田として利用する場合でも、飼料用米、加工米等を栽培・販売することで補助の対象となる。新規就農者は、雇用での就農者を除くと、令和3年度から5年度までに10名で、栽培品目は露地ナスが多い。

議員の提案

## 新規就農者へのたゆまぬ支援を



米の収穫のイメージ

議員の提案

## 人口減少対策は正規職員を増やすこと



短時間勤務で退庁するイメージ

短時間正規職員制度について

**問** 短時間正社員は、フルタイムの正社員と比べて、1週間の所定労働時間が短い正規型の社員となる。若い人が結婚するうえで、重視するのは安定した生活を営めるかであるが、職員の人材確保の観点から導入する考えは。

先進事例や国の動向など研究する

**答** 議員ご提案の短時間正社員制度に基づく正規職員はいないが、小学校就学前の子を養育する職員が利用できる育児短時間勤務の制度や1日当たり最高で2時間取得できる部分休業、また、介護休暇等の制度を導入している。今後も先進事例や国の動向等も参考に職員の働き方について、研究していきたい。

河原井 始 議員  
クラブ21  
人口減少対策



そのほか…「中・高生の交通事故」「老朽化するインフラ対策」について質問

議員の提案

# リチウム電池を市役所でも回収して



辻 正男 議員  
そのつぎの未来

## 火災警報器の交換



市役所でも回収できないか

**問** 火災警報器の交換の際、本体は不燃ゴミとして出せるが、リチウム電池は清掃センターに持ち込まなければならず、免許を返納した高齢者など、直接持ち込めない市民もたくさんいる。また、電池の違法投棄を助長しかねない。リチウム電池を普通の乾電池と同様に、市役所や各支所、各公民館で回収することについて検討していただきたいが、市の見解は、**回収する方向で検討したい**

**答** リチウム電池の処分方法については、今後、関係部局と連携をはかりながら、市役所や新里支所、黒保根支所などで回収する方向で検討していきたいと考えている。



そのほか…「漏水」「小型充電式電池」について質問

議員の提案

# 金銭管理団体との関わりの究明を



関口 直久 議員  
日本共産党議員団  
生活保護問題



金銭管理団体と関わったきっかけは

**問** 金銭管理団体である社会福祉協議会、日本福祉サポート及びほほえみの会の3団体と、最初に関わった時期及びその経緯について伺いたい。

経緯について、記録が残っていない

**答** 社会福祉協議会については、平成11年10月から地域福祉権利擁護事業を開始したが、当時のケース記録が残っていないため、いつから利用したかは不明である。また、ケース記録から確認できる範囲で、日本福祉サポートは平成28年9月から、ほほえみの会が平成24年2月から本市の被保護者が利用した記録がある。なお、経緯については、記録が残っており、はっきりとわからない状況である。



そのほか…「今後の改善」について質問

議員の提案

# 桐生市が誇る水道事業を振り返る



佐藤 光好 議員  
政策研究会  
水道事業の強み



元宿浄水場の建設の歴史について

**問** 渡良瀬川の上流には足尾銅山があり、鉱毒を抱えての元宿浄水場の建設はいかようなものであったか伺いたい。

これからも安全な水を供給していく

**答** 元宿浄水場は昭和7年の創業以来、地下水を水源としていたが、昭和41年に渡良瀬川の水利権を取得した。その後、昭和43年に高濁水や足尾銅山由来の重金属を処理するための急速濾過池を整備し、表流水を水源とした水道水の供給を開始した。特に、全国に先駆け前塩素処理によるヒ素の除去方法を解明した。現在では、足尾銅山の閉山（昭和48年）や草木ダムの完成（昭和51年）により水質が安定し、浄水処理に影響はない。



そのほか…「桐生市消防本部の対応」について質問

議員の提案

# PTAへの地域の理解・支援が大切



PTAの活動のイメージ

**問** 今後のPTA活動の方向性は

**答** 地域の宝である子どもたちを支える組織としてのPTAは、地域を巻き込んで様々な取組をしており、活動を通じ教師や保護者同士の情報交換など、子供の成長だけでなく若い保護者も地域の中で成長できると考える。今後も重要な組織と捉え、皆様のご支援をいただきたい。

**問** 日本PTA全国協議会の運営不祥事等により、群馬県PTA連合会を含む各地のPTA協議会が全国協議会を退会している。併せて、社会環境の変化、共働き世帯の増加等により、PTA役員の担い手不足も顕著であるが、少子化社会に向けた今後のPTA活動の方向性は。

**答** 今後重要な組織であると考え



福島 賢一 議員  
政策研究会  
子供の教育環境



一般質問

定例会概要

議員の提案

# 高齢者が笑顔で利用できる施設に



水沼駅にある温泉施設

**問** 高齢者リフレッシュ事業について

**答** 「高齢者の憩いの場として」有るべきスペースの確保や「水沼ヴィレッジ」としての一体的な誘客「開業後の入込客数の状況」など課題も多いことから、市と運営会社において、事業実施に向け協議を行っているところであるが、再開の形態など具体的な計画には至っていない。今後も運営会社と協議を継続し、地域の高齢者のご意見を伺いながら、事業実施に向け取り組んでいきたい。

**問** 当該施設では、これまで高齢者の憩いの場を提供する委託事業が行われてきたが、今後、どのような内容で事業が再開されるのか。

**答** 運営会社と継続して協議していく



新井 達夫 議員  
そうぞう未来  
水沼駅温泉施設



市議会の活動ほか

そのほか…「森林環境譲与税」について質問

議員の提案

# 北関東自動車道からのアクセス改善



スマートインター

**問** 足利に建設予定のインターの情報は

**答** (仮称) 足利スマートインターは、足利市五十部町、山下町付近、足利清風高校に近接した場所に計画され、令和4年9月に国土交通省から新規事業化の発表がされた。また、アクセス道路として「都市計画道路7丁目大前線」全長約4.5kmのうち、まずは、足利赤十字病院へのアクセス性の向上などを優先するため、約1.1kmの区間及びその周辺市道の整備を予定していると伺っている。

**問** (仮称) 足利スマートインター建設の事業認可が決まり、工事が開始されると聞いているが、どのような情報が来ているか。

**答** まず足利赤十字への周辺市道整備



岡部 純朗 議員  
そうぞう未来  
アクセス道路



そのほか…「地域の防犯対策」について質問

議員の提案

# 新本庁舎でワンストップ手続きを



窓口で手続きをしているイメージ

**問** 転入の際、手続きが分かりづらいとの声を聞いた。新本庁舎になり、以前と比べ、申請等含め、不便になった課題の把握及び改善について、当局の見解は。

**答** 分庁により不便となるのは保健福祉会館、水道局、教育センターの3ヶ所の手続きと把握している。子どもすこやか部に関しては、保健福祉会館に行かず手続きできるような調整中。また、水道局の手続きに関しては、電話やオンラインを活用していただく。教育センターの手続きに関しては、ご指摘いただいた市民課で配付している転入手続きの案内文を、分かりやすいものに改善した。

そのほか…「人材確保」について質問



周藤 雅彦 議員  
クラブ 21  
利便性向上へ



## 課題の把握や改善は

市民の声を聞き、改善に努める

議員の提案

# 市民の税金を軽視する行為ではないか



桐生市役所

**問** 新本庁舎建設の入札時、本来は建設業者が入札金額内訳書を独自に作成する責任がある。しかし、市が事前に数量を記載したフォーマットを業者に提供しており、これは入札法違反ではないか。

**改めて確認してまいりたい**

**答** この手法は、国や県、他自治体でも一般的に行われており、精度の高い工事費算出や資材の過不足防止、積算時間の短縮等の利点がある。しかし、入札法第12条の立法趣旨である談合等の不正行為を防止し、見積能力のない業者を排除することは行政の重要な責務であることから、現在の方法に問題が生じるかを改めて確認してまいりたい。

そのほか…「桐生市の入札制度は、適法・公正・公平に運用されているか」「桐生市の補助金行政は適正か」について質問  
※入札法とは…「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」の略



飯島 英規 議員  
無党派  
入札公正性に疑念



## 適正であるべき競争が阻害される

改めて確認してまいりたい

議員の提案

# 新里町を人口増加のためのアクセルに



むすびすむ桐生で移住相談

**問** 新里町は田園風景と住環境のバランスなど魅力があり、市全体における人口割合も増えている。新里町の強みを踏まえ、どのような移住定住策を推進するか。

**様々な取組により推進している**

**答** 新里町への移住定住策に関連する取組は、完了した桐生武井西工業団地整備事業とその周辺道路路整備事業、農業振興のための地域おこし協力隊制度の活用、きりゆう暮らし応援事業の住宅取得応援事業では新里町を対象にした誘導区域加算がある。むすびすむ桐生では、新里町への移住コーディネーターの配置、酒米生産を通じた新里町との関わりづくりや魅力のPRに取り組んでいる。

そのほか…「公共施設等総合管理計画の推進」について質問



久保田 裕一 議員  
そうぞう未来  
新里のポテンシャル



## 新里町の強みを生かした移住策は

様々な取組により推進している